

R.H. Complex!

2009 Summer,
Sago-jo/Seura-Isago
Presents.

Selected rough
illustrations of
Seura Isago,
2007-2009.



Sago-Jou Presents.

成年向

FOR ADULT ONLY

R.H.
Complex!





R.H.
Complex!

■ 目次

ノーマーク爆乳党/-咲-saki	09/08/16	05-
クラ姦/マクロスF	08/08/17	14-
ガーネットさんで遊ぼう/ドラゴノーツ	07/12/31	22-
姐さんほれたっす!/グレンラガン	07/08/19	28-
女戦士さんをお願い/◇◇Ⅲ	07/10/08	34-
100のルイズ/ゼロの使い魔	08/12/30	42-
	後書	50-

REC
HDI

「じゃあ名前教えてくれるかな」
「の…っ和です…」

「和ちゃんか…可愛い名前だねー」

「いやー和ちゃんのおっぱいすごいねー
俺今までこんな乳揉んだことないよ」

「サイズいくつか教えてくれるかな？」

「……………ひゃ…106の…Kカップ…です…」

「すっげえ…Kカップかあ…」

「重量感がほんと堪えないねえ…」

「…こんな事になるなんて…」
私…これから…体を…汚されるの…っっ
ても…お父さんに話さないと…っ
「生麻雀を打つ事が許されなくなる…っ
それだけは…それだけは嫌…っ!!」



「のっ和あーっ」

「兄ちゃん静かにしなよ…」

「大体立場わかってんの前前？」

「分もわきまえず高レートで」

「やんちゃしたお前助ける為に」

「あんな美少女が体はる羽目になつてんだよ？」

「くそっ離せっ和に触るなっ！」

「うるせえなあ」

「なんならお前の内蔵切り売りして」

「負け分払うつてのでもいいんだぜ？」

「それか…あつちんやちよつと負けるが」

「こつちの可愛い娘でも…」

「…っ！」

「こつちほいこつちで」

「別の書屋画そのな感じだしねえ」

「やっやめて下さいっ 私が…全部引き受けますから…」

「宮永さんには一切触らないで下さい…っ」

「は…っ原村さん…っ」

「宮永さん…私は…大丈夫ですから…っ」

「……………すつっすつっげえ…………この仕事長い俺でも」

「こんなデカいのナマで揉むのは初めてだなあ」

「……………乳首はちよつと陥没気味だけど…」

「…ん…く…っ」

「おお…っ勃起するとすつげー存在感」

「乳首びんびんにおっ勃てて」

「そんなに気持ち良いのかい？」

ん…っ

ん…っ

《そんな訳…ない…っ》

《これは…ただの生理現象…っ》

《しっ…っそんなに胸》

《揉みじかなくて…っ…》

「あ…っ」
「これだけデカけりや自分で舐められるよね？」
「……………は…はい…ん…れう…」

「は…っ」

「は…っ」

「う…いやあ…っ
宮永さんに見られてる…
こんないやむじり所お…っ」
「♡…ふ…っ…ふ…っ…♡」

「♡…ふ…っ…ふ…っ…♡」
「♡…ふ…っ…ふ…っ…♡」
「♡…ふ…っ…ふ…っ…♡」

「いやあ…指…入れられて…っ」
「は…っ…っ…っ…っ」

「いやーこんなに清纯そうな可愛い顔してるのに
デカパイの先っぽ自分で吸って感じまくって
マンコとろとろに蕩けさせちゃうエロっ娘だなんて
いやらしくて最高だよ和ちゃんっ」
「っ…っ嫌あ…っ…っ…っ言わな…っ…っ」

「は…っ」

「♡…ふ…っ…ふ…っ…♡」
「♡…ふ…っ…ふ…っ…♡」
「♡…ふ…っ…ふ…っ…♡」

「俺のちんぽなかなかでつかいでしょ
これが今から和ちゃんの膣内
ずぼずぼしちゃうんだよー」
「い…っいやあああつ」
「ほら見えるかな…」
和ちゃんのところとおまんこに
ぶっついおちんぽが
ずぶずぶ入っていつちゃうよ
「ひ…ううううう…っ！」

「あ…ああ…っ嫌…っいやああ…っ
太い…っそれに熱くて硬い…っ！
それが…入って…入って来るう…っ！」

「流石…っ処女まんこ…っ
びっちり閉じた肉ヒダが吸い付いてくるっ」
「痛い？和ちゃん？」
「そ…っそれほど…痛くはない…っですけど…っ
十分ほぐしたお陰かな…っじゃあ動いちゃうか」
「やっまつ待って！
嫌っ嫌あああつ！」



「まだちよつときこちないねえ」
「それじゃ胸で気持ちよくなろうか？」
「やっ胸…っだめえっ」
「だめ…っ♡だめえええ…っ♡」
「おっぱい揉まれて感じてるのかいっ？
かわいい顔してるね」
「これ見て何千万って人がシッコってくれるんだよ」
「……っ！」

《見てほしい…っ私…っ》
「沢山の…っ沢山の男の人に…っ」
「…それに…宮永さんにも…っ」
「私のいやらしい姿…宮永さんに…っ」《

「声段々甘ったるくなつて
感じてるのよく分かるよ
膣内もところどころのお汁で
ぐちゅぐちゅになつてきたし
本当に乳首敏感なんだなあ」
「和ちゃん…おまんこおちんちんで
犯されて気持ち良いんだ？」
「…っそんな…っこと…っ
ありえませんか…っ」
「…和ちゃん気持ち良いよね…？
（あの娘がどうなつても
いいのかなあ…和ちゃん…っ）」

《…宮永さんに…
手を出させる訳には…っ
ああ…っ宮永さん…聞かなら…っ》

「…気持ち良いよね？」
「は…っはい…っ気持ち…っ
気持ち良いです…っ♡」

「涙山の人に…っ♡宮永さんに…っ
見られてるのに…っ♡
えっちな腰…っ♡勝手に動いておちんちん
じゅぽじゅぽさせちやうのおお…っ♡」

「デカパイぶるんぶるん揺らしながら
本気汁とぼして腰振ってっ
さっきまで処女だったなんて
信じらんないくらいなの
ドスケベっ娘だな和ちゃんっ！
「ちが…っ♡違いますう…っ♡
私…っ♡私ドスケベなんかじゃあ…っ
ッんああんっ♡」

「うう…っ！膣内ひんひんっ！
もっ…っちもやばい…っ！
膣内でだしちゃうよ和ちゃんっ！
「うそっやっやめてくださいっああっ
膣内は…っ！膣内に出されたら
赤ちゃんできちやいますう…っ！
「おらっ…おらっ…おらっ…おらあああっ！
デカパイ美少女のマンコの奥に
ザーメン注ぎ込んでやるっ！
「いやっいや膣内射精
いやああああっ！」

「嫌ああ…っ！
膣内射精ダメなの…っ！
イっちやうっイかされちやうっ
イかされちやうっ♡」

「イけっ！イけっ！イけえええっ！
「あっあああああああああっ♡」





「あ……っ♡ああ……っ♡うああ……っ♡」
「そうそうくばあってまんこ開いてっ
どろどろにザーメン垂れてきてるね……っ」
「ああ……っいやああ……っ」
「じゃあこれからいっばい
がんばろーね和ちゃん……っ」

「嫌……っこれが……っずっ……っ……っ??」
「嫌なのに……無理矢理イカされて……っ
膣内射精までされて……っ」
「でも……宮永さんと……麻雀続ける筈なら……私……
だから……っ気持ち良いのも……っ辛くなると……っ」

「おこれ原村和にそっくりじゃね?」
「つてあの麻雀全国の?」
「最近のAVすげえなあどんなネタでも
食いつくっつかW
タイトルもひでえバロだ」
「でも見ろこれすごいぞ……顔激似で
無茶苦茶可愛いし乳もすっげえ……」
「……確かに……っこういうイロモノにじちゃ
珍しくクオリティはねえな」
「……俺買って帰ろ……」
「おっマジで?貸してくれよな今度」
「そんなに見たいならお前も買えよW」



「……そっぴいやネットで店探してるとき
原村和似のソーフ嬢の噂見たな
在籍してんのはかなりの高級店らしいけど……」
「このDVDの娘かもなあ」
「……ありえるなあ……」
「……もしかして原村和本人だったたりして……」
「……あるあるあ……ねーよW夢見すぎだつてW」
「……だよなあ……」
「でもマジこんな位の爆乳美少女とやってみてーな」
「たしかに……」

END.

R.H. Complex!



■
春の「ごらんのお有様！」
からP4雪千枝。
P4は描きたいネタが
いくつか…

女 行 窃



成人向
FOR ADULT ONLY

「うあああつ!! く…つ来るな…つ!!
止めろ…!!この虫共がっ!!
やめろクソ…つやめろおおおおおっ!!!

バジユラ達の母艦内部に
捕らわれたクランとミシエル。

VF-25は母艦からの触手に絡め取られ、
閉閉の出来なくなつた強固なキヤノビーの下、
コクピット内部にミシエルは閉じ込められる。
一方バジユラ達はのし掛かる様にクアドランに集り付き、
ハッチをこじ開けクランを無理矢理引き摺り出した…。

クラン達を捕獲したバジユラは
ゼントランを凌辱、卵子を強制受精させ
母胎として利用する特殊な進化を遂げた固体群だつた。

ゼントランを犯す事に特化した
無数の触手を備えた巨体に押さえ込まれ
スーツを剥ぎ取られていくクラン。
異形の虫に豊満な体を蹂躪されていく嫌悪感と共に、
皮膚に触れる粘液の、体の奥底に熱を摺りこんでいく様な
奇妙な感触に戸惑いを覚えるクランであつた…。



「へ……り……等……
なんで……こんな……?!
わちっ……っ……うう……っ
く……あ……っ……っ……あ……あ……っ……

バジユラは的確に克蘭の性感帯を突き
嫌悪を踏むにするその言葉とは裏腹に
豊かに実ったセントランの体を
確実に高ぶらせていく。

バジユラの繊細かつ
激しい舐め上げに拠つて
限界まで屹立させられた
特大の乳首は、
執拗な触手先のくすぐりに応え、
切ない位の快感を克蘭の
たわわな乳房に響かせていった……



「や…っやめろおおっ入れるなっ
この…ムシなんか…っ
いやだ…っいやだあああッ！
ッ!!!
いやあああああああああッ!!!

準備が完全に整った事を
その発情臭で感じ取ったバジユラ。
強くそして同時に淫猥なセントランの体を堪能し
子宮に濃厚な子種を注ぎ込み強制妊娠させるべく
巨大に勃起した生殖器を
クランの膈内へ埋没させて行く。
愛する幼馴染の眼前で処女を異形の生物に奪われる絶望に
クランはか弱い少女の様に泣き叫ぶ事しかできなかった…

「クラン…っく…っ開かない!?
止める…っクランに融るんじゃない…っ!
クラン…っ! クラアアアッ!!!
媚薬じみた粘液に全身を浸され、
人外の愛撫を執拗に全身に受けるクラン。
頭程の体積を誇る巨大な双乳は
柔らかく蕩けきり、柔らかな秘部は
発情しきった匂いを漂わせ
かすかに白く濁った本気汁を
際限なく溢れさせていた…

「うあ♡ なんて♡ いや♡ 嫌なのにつ
だめっだめだあ♡く…ううっ
そ…っ弾く…んあああ♡ はっんん♡♡

処女を奪われた衝撃も束の間、
媚薬粘液によって強制的に発情させられた体を
無数の触手に弄られ

ありえない程の快感を注ぎ続けられるクラン。

その強烈な快楽に本能的に体を捻り
逃げ出そうとしてしまっクランだが、

バジユはその巨体に似合わない俊敏さで雌を追い

豊満な体を背後から押さえつけ

秘部をしなやかな触手達でねっちりと蹂躪し続ける…

クランの大粒のクリトリスも極細の触腕に

根元を締め取られ揺すぶられた挙句、

更にもう一本の触腕で充血し切った突起の先を弾かれ出す。

破瓜の痛みも最早無く、

膣内を極太の生殖器に擦り上げられ、

クリトリスを触腕で揉み、舐めあげられる人外の愛撫に

クランは雌の甘い声を挙げ鳴き続ける事になる…



「おねがい……
みな……っみないでえ……っ
ミシエル……っミシエル……っ

必死に立ち上がりバジユラの巨体を
振り払おうとする克蘭だが、
バジユラは柔軟に滑る脚を
豊満なゼントランの体に
絡ませ執拗に犯し続ける。

後ろからしがみつかれ、
白く柔らかで肉付きの良い尻は
細かな触手に舐め採まれる。
大柄な人間ほどもある巨大の生殖器に
つきさつきまで処女だった
克蘭の秘穴が激しく蹂躪されている。
媚薬に侵され蕩けきった膣口からは
絶え間なく愛液が噴き出し、
子宮はバジユラの生殖器を
歓迎するかのようになりきっていた……

絶頂の寸前まで追い詰められた状態で
懸命に凌辱から逃れようとする克蘭だが
そのしなやかな脚は生まれたての子鹿の様な
不安定さを露わにしガクガクと震えている。
その激しい反応が克蘭の味わっている
快感の強さを物語っていた……

「ミシエル……助けて……っ
私……もう……っ
だめ……だ……っ♡だめ……ええ……っ♡

「まさか!? 嘘だ 止める…っー
いやだ…っー! バジユラのなんて…っー!
いやだいやだいやだいやだいやだあああああっっ!!!

生殖器の律動が一段と激しさを増し、
その根元が不吉な痙攣を始めた。
その動きが意味する事を悟ったクランは
絶望の淵に立たされ悲鳴を上げる。
しかしその体は激しい凌辱で否応無く感じさせられ、
一擦り毎確実に絶頂へと追い詰められていく…

「いやだミシエルの前でいきたくなんか
いやら…いきたくないっ
イっちゃ…っら…め…え…っ♡
はっ♡♡♡ おおおおおおおっ♡

「クラン!!!
クランあああっ!!!

トドメになったのは子宮口に叩きつけられた
恐ろしく濃く、固体じみた
弾力を備えたバジユラの子種だった。
子宮に注ぎ込まれる精液に
発情させられきったクランは
愛する幼馴染の目の前で
涙と汗と涎に塗れた
蕩け切ったアクメ顔を晒してしまっ…。
想い人の目の前で惨めに絶頂させられ
無理矢理孕まされるといふ凄惨さに
凍としたクランの
女としての矜持も折れていく…。



「みないれ…みしえるう…
やら…ぼじゅらのせいえき…ぶびゅぶびゅ…て…♡
はへえ…はへええ…♡
やら…っなのにい…っ♡ / おまんこ…きもちひい…っ♡
じゅぶじゅぶ…♡ / おまんこのひだひだ…っ♡
コスってりゅらう♡

もうどれだけの間凌辱され続けたのか…
数え切れない程の数のバジユラに子種を注ぎ込まれ
クランは異形の子をその胎内に宿らされていた。

触手で揉み潰された、豊か過ぎる程の
双乳の先からは母乳を噴出させ、
生殖器で擦り上げられる膣内は
絶頂の痙攣を繰り返していく。
本能のままにセントランの
肉付きの良い体を貪り続けるバジユラ。
しかしクランもまた与えられる圧倒的な快楽に
完全に堕ちていた…

キヤノビーを叩き続けていた
拳も砕け万策尽きたミシエル
何物に変えても守るべきだった
愛しい幼馴染の、虫ケラに孕まされ
無力にひたすら助けを待つ事…
それが彼に許された唯一の行為であった……



ガーネットさんで
遊ぼう。



成人向
FOR ADULT ONLY

抵抗しても無駄ッすよ
ガinet少佐
さつき食らわせたスタンガンで
まともに手足動かないっしょ

貴様ら…っ上官にこんな真似をして
ただで済むと思ってるのか…っ!?

ええもちろんw

やっぱ知らねえのか
あの事w

な…
何を言ってる…っ?

アーシム殿下に少佐を払い下げ
頂いたんですよ俺達

『アレには飽きた、
お前たちの好きにしてい
ってね』

流石殿下話わかるw

な…っう…嘘だ…っ!
殿下が…そんな…っ!

だから暴れても無駄だっってw

うはーやっぱ乳すげえ
身じろぎする度ふるんふるん
させやがって…
服から溢れそうだなw

ん...ん
う...うん...ん

うお...っ
少佐のまんこやべえ...っ!

膣内とろとろに柔らかけーのに
入り口がぎっちぎちに締めて来やがるっ
マジチンポ引き抜かれるみてえだ...っ

ん...ん
う...うん...ん

うはーw
すげえ楽しみになってきた...っ

まずは人数分きっちり
膣内出し決めてやろうぜ

や...くそ...っ
な...中は...っ!



う…あ…♡
乳首…やめ…♡!

うは
それすげえ…っ
乳首コネられると
膣内ビクビク震えやがる

少佐乳首超敏感?
あの少佐が蕩けた表情
させてるなんてな

く…これ以上…
かわる…なあっ!

普段あんなにこえーのに
こんなに敏感で
エロい身体してたんだな

殿下に開発され
切ってたんだろーなw

こんな極上の女を一から
開発しきってその上ポイ捨てかあ

殿下マジうらやましいぜ…

んっ!
♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡

あれ、少佐イっちゃった?

殿下の事言われて
イっちゃうなんて
可愛いっすよ少佐w

あ…あ…♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡

んん…
んん…♡

あれ？少佐気失ってる？

流石にイかせすぎたか？w

つってもまだ
半分も回ってないぜ

少佐がいき易過ぎるんだなw

あ…♡あ…♡
んん…♡

水てもぶっ掛けて起そうぜ

いやこれはこれで…

あの少佐を俺のチンポで
屈服させたって感じが
たまんねえー

お前は半分気失ってるから
つっこんだだけだろw

あの鬼のガーネット少佐も
こうなっちゃ終わりだなあ…

ここまでマンコ狂いとは
正直幻滅だぜw

ひてえなお前w

さてしっかり一周回りきるまで
ちゃんと持ってくれよ…

ガーネット少佐…

ひびき
おしま



成人向
FOR ADULT ONLY

姉さん...っ
俺のお願いもある!!!

——七年前であれだけ
ほいほい子供産ませるの
レベルの姐やぞ...

...もてがうだけ
実は結構エロい姐やぞ
なごせやなごせやなごせや

七年前たいやたいや
機関士達のちのちの
手入れしてあげた
違えなごせやなごせや。

違えなごせやなごせや。





R.H.
Complex!



■ 春の「ごらんno有様！」
からボツ大月ミーナ本
表紙ラブです。
いつか描けるかな…？



女戦士さん

お願い

成人向

P.Tの女戦士さんがあんまり馬鹿でかくて
エロい乳をしており非常にけしからるので
パイズリしてくれと頼んでみました。

『ばっ馬鹿がお前っ！』

いきなり訳の分からない事

言うんじゃねえよ

この変態…っ！

流石にご立腹の様ですが…

『…ま、まあお前がどーしても
つて言っならやっつてやっつても…
い…いごぞ…っ』

この女戦士さん、所謂ツンデレみたいですわね。



この際は非このまま…
ビキニアーマーでみっちりど
寄せられた乳肉の間に
突っ込ませて頂きたい所。

『じっこのままっ…
ぬ…脱いでもするの恥ずかしいけど…
ちよつとそれ変態っほすぎると…』

まあ変態なのはこの際否定しないのですが
ビキニアーマーの間に挿入してみたい
つてのは男なら誰しも一度は思い描く夢。
なんとかお願い、と拜み倒してみました。

『わ…わ…ったよ…もお…
そこまで言うなら…今日だけだぞ…ほんと…』

ゆー…

むち…っ

ゆー…





本格的に抽送を開始。
爆乳の締め付け抜群な
感触もさることながら、
真っ白で巨大な乳房が
鎧の下で窮屈そうに
揺れ弾む光景は最高です。



恥ずかしいのか、
苦しいのか...
それともいやらしい
乳をペニスで
突きまぐられるのに
興奮しているのか...
かすかな喘ぎ声を
嘔み殺すように
鼻から息を吐き
真っ赤な顔をしている
女戦士さん。
普段男勝りな彼女が
声を抑え赤面しているのを見ると
激しく劣情に駆られます。

最高の乳ま○こに
堪らず絶頂に追い込まれるち○ほ。
敢えて顔射ではなく乳内射精を選択。
絶頂時の激しい痙攣も乳房で柔らかく
受け止められすこぶる気持ち良い…
びっちりと閉じた乳房の間からは
溢れた精液が零れて、
女戦士さんの首筋を汚していきます。

「うあ…っ…
射精てる…っ
熱い…よ…っ?」
これが…精液…なんだよな…
アタシ…胸に…精液…出されちゃってんだ…っ♡



『グウ…こんなじ…
だじやがつてえ…』

蕩ける様に柔らかいのに
肌に吸い付いてくるような張りもあって、
ま○こに全然負けてない。
本当に最高のおっぱいでした。
女戦士さんにも気持ち良くなつて
貰えたみたいで大満足。
女戦士さんはどうだったか尋ねてみると…

『は…はかあ…
もお…お前なんか知らない…っ』

そんなに照れなくても、
でも知らないと言われると辛い所。
個人的には今女戦士さんの
下の方がどんな状態か非常に
気になるのですが…
尋ねてみましょうか。

『………そんなに…
アタシが…欲しいの…か…？』

…はか…違う…お前が…
かわいいそーだから…
つきあつてやるつて…それだけ…
それだけ…なんだからな…

…なんだか、好感触みたいです…
さてさて、続きはいずれまた…

100のルイズ



成人向
FOR ADULT ONLY

敏感な乳首をさんざん弄られて
完全に出來上がったルイズ。
はしたなく才人の野太いちんぽを
じりじりめすじまんじり寝えびたて
夢中で腰を揺ります。

『うそお…いや…だめ…これ…♡』
『ル…ルイズ…なんかすげえはげし…♡』
『ち…が…♡』
井…魔法の…副作用なのお…♡…
あ…し…信じられないくら…♡…
気きぢ…良いのおおお…♡♡♡』



才人にしがみ付きながら
快楽に飛ばされそうな意識を
必死に繋ぎ止めるルイス。
才人も限界が近いがつつした
ピストンで応えます。

『だめ…うあたま…ばかになっちゃいま…う♡
『ばかになっちゃえ…う！ルイス…う！』
『いや…いやいやあ…う』
『ルイスはイクの嫌がっ？』
『う…う♡うう…う♡』
『い…イクの嫌じゃないっ気持ち良いの…すき…う♡
サイドに気持ちよくくして貰うの好き…♡』
『なら思いつきでイクすませルイス…う』
『だめ…だめなの…う…これ…♡』
『す…すき…う…う許して…許してサイド…う♡
イク…♡イク…う…う♡』

絶頂時の激しい痙攣で
射精に導かれる才人。
ルイスの膣内はもつともつと精液をこ
ねたるようにちんぽを搾り上げます…。

『わ…あ♡わ…わ…う…♡
わ…すき…♡わ…♡』



■ 後書

えー

という事で今回は総集編でしたー
本当はこの夏でねこたま下出す筈だったのですが、
うっかり春にまぼ逝きかけてしまい、
しばらく入院&その後も通院連続でスケジュールめたために。
そしてごらんの有様です(；・ω・)
冗談抜きで危うくぼうくり逝く寸前だったので
今後は注意していきますー

今回は2007年の夏からの分のまとめとなりましたが、
全体的には結構凌辱色強めかな？
珍しく総集編にもかかわらずふたなり0です。
2008年夏にひだまりふたなり本だした分
ふたなりも描きたい欲が多少発散された形でしょうか？w
まあでもそろそろまたふたなり描きたい欲が溜まって来てるので。
次の総集編あたりはまたかなり人選びそうな作りになりそうな予感…

そして今回の描き下ろしはのどっちでした！
アニメのおっぱいがエロ過ぎてもう描かすにはいられない！
ふたなりも考えたのですがこのおっぱいは
男達にめちゃうちゃに揉まれてなんぼ！
だと思ってしまったのでこんなネタになっちゃいました。
アニメがこれからオリジナル展開になりますか、さてどうなることやら…w

ということで今回はこれにてー

2009.08.16 瀬浦沙悟 拝

-奥付-

誌名: 「R.H. Complex!」

発行日: 2009年08月16日

発行者: 沙悟荘

瀬浦沙悟

印刷: POPLS様

発行者連絡先:

E-mail: ser@fx.sakura.ne.jp

HPURL: <http://www.fx.sakura.ne.jp/~ser/>

R.H. Complex!

Selected rough illustrations of
Seura Isago,
2007-2009.

2009 SUMMER

